

「志教育」につながる「学ぶ土台づくり」

みやぎの志教育

夢をはぐくみ志に高める

「みやぎの志教育」とは、「小・中・高等学校等の全時期を通じて、人や社会と関わる中で社会性や勤労観を養い、集団や社会の中で果たすべき自己の役割を考えさせながら、将来の社会人としてのよりよい生き方を主体的に求めさせていく教育」です。

人と『かかわる』

- 様々な人との関わりを通して、自己理解や他者理解を深化させる。
- 集団や組織の中で、よりよい人間関係を築く力や社会性を養う。

よりよい生き方を『もとめる』

- 学校で学ぶ知識と、社会や職業との関連を実感させる。
- 社会において役割を果たす人間として、自らの在り方生き方について主体的に探求させる。

社会での役割を『はたす』

- 集団や組織の中で、自分の果たすべき役割を認識させる。
- 自己の役割を果たすことによって自己有用感を高めさせる。

- 相手との愛着関係をよりどころとして、人に対する信頼感につながる基礎を培う。
- 様々な人と触れ合うことを通して、社会性や思いやりの心をはぐくむ。

- 幼児期にふさわしい生活のリズムを確立することで、自立の基礎を培う。
- 様々な体験を積み重ねることにより、自ら考え、自ら行動する姿勢を身に付ける。

- 諦めずにやり遂げようとする気持ちや自分で解決しようとする気持ちをもつ。
- 最後までやり遂げた体験を通して自己肯定感をはぐくむ。

親子間の愛着形成の促進

基本的な生活習慣の確立

豊かな体験活動による学びの促進

幼児教育の充実のための環境づくり

元気いっぱい、夢いっぱい、瞳かがやく“みやぎっ子”

～ 遊びや自然・人とのかかわりを通して、豊かな心をはぐくむ ～

みやぎの学ぶ土台づくり